

PHILIPPE DOUSTE-BLAZY

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- United Nations official and former French minister



Philippe Douste-Blazyは、国連の役人であり、かつてフランスの中央右派の政治家です。彼は、事務総長、2008年から国連の開発のための革新的な資金調達に関する特別顧問、そして2007年からUNITAIDの会長を務めてきました。

UNITAIDは、エイズ、マラリア、結核などの世界的流行病に対する医療へのアクセスを途上国に提供することを目的とした国際機関です。組織は30カ国で構成されており、革新的な資金を使用しています。例えば、グローバル化から恩恵を受ける活動（航空券、インターネット活動など）からのマイクロ連帯の貢献を通じてUNITAIDは7年間で15億ユーロ以上を調達しました。

Topics

- Economics
- Government

彼は以前、フランスの保健大臣（1993年 - 1995年および2004年 - 2005年）、文化大臣（1995年 - 1997年）、そしてドミニク・ド・ヴィルピン内閣の外務大臣（2005年 - 2007年）を務めました。彼は1989 - 2000年のルルド市長と2001 - 2004年のトゥールーズ市長でした。もともとはフランス民主主義連合（UDF）党のキリスト教民主党の構成員である社会民主党の中心部（CDS）のメンバーであったが、彼は後に民衆運動連合（UMP）に加わった。